

第 6 回
(仮称)北統合中学校
学校再編代表者会議
議事録

日 時：令和 8 年 7 月 1 5 日（水）
場 所：旭市役所 1 階市民ホール

第6回 (仮称)北統合中学校 学校再編代表者会議

日 時 令和8年7月15日(水) 午後6時30分

場 所 旭市役所 1階市民ホール

議事日程

- 1 開 会
- 2 前回議事について
- 3 議 題
(1) 議案第5号 今後の方向性について(諮問)
- 4 その他
- 5 閉 会

出席委員(21名)

保護者代表

第二中PTA	井ノ上 直人	第二中PTA	諸持 典明
干潟中PTA	高安 忠廣	干潟中PTA	鏑木 正彦
干潟中PTA	高木 真弘		

地域住民代表

江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦	新町仲町区区長	浪川 正彦
中11区区長	菅谷 圭一郎	西18区区長	越川 雅昭

学校教育関係者

第二中校長	酒井 誠一	干潟中校長	溝口 洋樹
-------	-------	-------	-------

福祉関係者・青少年育成関係者

主任児童委員	金谷 茂	青少年相談員	宮野 智
民生委員	大湊 一文	青少年相談員	石井 和芳

その他教育委員会が必要と認める者

共 和 小 保 護 者 池 の 端 保 育 所 保 護 者	廣岡 美穂 宮内 大知	共 和 小 保 護 者 共 和 保 育 所 保 護 者	高埜 真奈未 高安 めぐみ
--	----------------	--------------------------------------	------------------

干潟町中央保育園
保護者

高木 奈保子

干潟中学校運営協議会
委員

花香 武見

欠席委員（3名）

第二中PTA

大林 哲也

萬歳小保護者

井上 真実

中和小保護者

藤崎 理佐

事務局職員出席者

教 育 長

向後 依明

教育総務課
長

飯島 正寛

教育総務課
副課長
学校再編室
主査

八馬 裕樹

学校再編室
主査

林 義樹

椎名 倫史

学校再編室

加瀬 政吉

傍聴者 3名

1 開 会

○事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、これより（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

なお、本日の審議会は「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により公開するものとなっております。傍聴人の皆さまは傍聴要領をお守りいただくようお願いいたします。

2 前回議事について

○事務局 それでは、次第の2、前回議事について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局 （資料説明）

○事務局 ただいまの説明に対して、ご質問等がありましたらお願いします。

（発言する人なし）

○事務局 それでは続いて次第の3、議事に移ります。これ以降の議事につきましては、旭市学校再編代表者会議条例第7条の規定により、会長が議長となります。井ノ上会長よろしくをお願いします。

3 議 題

（1）議案第5号 今後の方向性について（諮問）

○会長 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

前回に引き続き、議案第5号今後の方向性について初めに事務局より説明をお願いします。

○事務局 （資料説明）

○会長 事務局の説明は終わりました。

それでは、先に私から意見を述べさせていただきます。

私は今後の方向性については、5校の学区で統合して、今の干潟中の位置に建て替えることがいいと思っております。建物は新しいほうが新しい教育設備を整えられるので、新しいものにして欲しいなと思ってます。また新町の上のほう、息子は干潟中に自転車を通ってるんですけども、うちの長女のほうは二中にはほぼ毎日車で行っていたので、うちからは干潟中のほうが通いやすいっていうのがありました。

また琴田小、共和小の地元の方に聞いても、二中に行くのと時間が大差ないような形で、スクールバスを整えてもらえれば問題ないということを聞いてきたので、やはり新設で干潟

中の位置がいいかなと思ってます。

1 番から 8 番の素案については、私は異論はありません。特に 4 番のこれから空港機能強化のところを見据えた期待が高まるところというのはすごい良いことだと思っています。ただ今後建て替えが終わるまで、やはり干潟中の人数が少なくなるので、その期間、救済装置といいますか、その間だけちょっと振り分けるっていうことに対して、前回いろいろ制度だったり家族に負担がかかるっていうところあったんですけども、やはり健全な人数で運営できる学校にするためには、一旦振り分けるとかですね、建て替えるまではそういった措置が必要かなと思っております。それ以外は異論なしです。

○委員 私も現在の話し合ってる地域の学校を対象に中学校を新設することで考えております。場所としては今の干潟中の場所と、他の場所ですね、もう建てやすいところ、通いやすいところがいいと思います。理由としては元々二中、海上中を活用して費用を抑えて、そちらに通えるようにって考えていたんですけども、以前いただいた資料で、新築する場合に70億ってなっているんですけども、カッコ書きで市の負担が37.5億、他のプランと比べてもそんなに大きく変わらないのかなっていうのと、あと、元々時間が早いほうがいいのかなと思ってたんですけども、長い目で見ると、今までの委員さんの意見など聞いていると、いつかはまた新築建てることがあったり、原材料費のことなどを考えると、今やっぱ建ててしまったほうが、結果安く、安い高いではないんですけども、長い目で見ると費用を抑えられるのかなっていうのと、どうせ建てるとしたら今までないような学校、例えば防災に強い学校など、新しい学校づくり、魅力のある学校を建てられるといいのかなと思いました。

あと海上中のほうは大丈夫だと思うんですけど、旭二中に一時的に生徒数が増えると、現状通われてる方とかご存じかと思うんですけども、朝の渋滞がかなり思っていた以上にすごい状況になってまして、特に雨の日もそうなんですけども、そこが懸念されるっていうことがあります。

1 番から 8 番の内容については今後も必要な内容で、特に問題はないと思います。

○委員 私の意見としては、四角の部分は基本方針と一緒に5つの学区で統合して、新しい場所に新設するという意見です。

1 から 8 の附属事項ですね、修正っていうわけではないんですけども、私の考えとして、中学校っていうのは13歳から15歳の子供の可能性を見つける、広げる場所であるということから、最先端の施設、勉強なり運動なりしてもらいたいなっていうのがあります。自分の子供が小学校の頃と変わって成長したなっていうのも見つけられる期間でしたので、もうしっ

かりしたところ、最先端のところでやらせてあげたいなっていうのは思ってます。だから1番の統合にかかる費用についてっていうところで、莫大な費用がかかることから将来の子供たちに過度な負担残さないようにってあるんですけど、そこは子供たちの可能性をつぶさない施設を作って欲しいっていうのでちょっと引かかるなという思いです。

○委員 四角の中に関して、新設に関してはずっと賛成です。建て直す感じで、そちらのほうがいいかなとずっと思っていました。田んぼの中に建設する話とか、過疎地域になってるんでいろいろ補助が出るとかっていうのを聞いてましたけど、実際田んぼの中に建物を建てて、そこで生活したり、私の家が田んぼの中にありまして、夏は虫がすごくて、カエルもすごい自分に飛んできて、建ててからわかるところもいろいろあると思うんですよ。なので、実際に同じ状況の中で統合したりとか、そういう方の意見とかいろいろもうちょっと内輪だけの話ではなくて、そういうやられた方の話もいろいろ聞けたらいいかなっていう感じがありました。

いろいろ皆さんの話を聞いて、いろいろ資料読んでいくと、みんなすべて合ってるなっていうふうに感じて。やっぱり見る方の方向性や考え方で、いろいろ見方が変わってくるのかなって思いました。娘が干潟中なんですけど、パパこういう会議行ってくるよって話したときに、移動になったらどうするとか、新しく建てたらどうするって、ちょっと意見聞いてみたんです。そしたら友達がそこにいればどこでもいいっていうふうに言っていたので、やっぱりどのように建てるかよりもその環境が大事なのかなとわかりました。

進めていく中で、いろいろ予算だったり、バスのこととか送迎のこととか、いろいろ皆さん経験してるところからお話されたと思うんですけど、それはそうなる前に、皆さんと解決の方法を話し合えばいい方向に最終的には落ち着くのかなって感じてます。

私、商売は車屋なんですけど、お客さんにアンケートを取ったときありまして、これから未来どういう車が必要ですかっていう話、どういう車があるといいですかって質問したときあるんですけど、とんでもないことばかり言ってきてたのを記憶にあるんですね。空飛べるとか、絶対事故を起こさないとか。今机上の空論になってるのかなって、正直あったところですが、1番から8番までまとめていただくとすべて賛成かなというふうに感じてます。

○委員 私はかねてより基本方針でいこうという立場でいます。私は干潟地域出身ではありません。干潟地域に来る前に約20年間都内に住んでいました。便利な生活がしたければそのまま都内にいればよかったんですけども、様々な理由があって干潟地域に引っ越してきたんですけど、その中の1つに過疎でこそ魅力だと、少ない人数で教育を受けさせることが、子

供たちにとって成功体験が増えるという考えの下、長男が小学校入学のときに干潟地域に引っ越してきました。割と成功しまして、非常に優秀な、優秀なんていうのは頭がいいとかそういうことじゃなくて、道徳力の備えた、非常に人間力のある子供に育っています。私は子育てがすごい苦手できませんので、これは妻と地域、あと学校の方に育てていただいたと思っています。なので、私のわがまを叶えるなら、このまま人数が少ないまま、生徒がゼロになるまで、校舎が朽ちるまで、運営していただいたほうが私の希望にはなるんですけど。

基本方針にずっと賛成しているのは、これは地域の課題に寄り添っています。干潟中の人数が一番少ないと困ってる、私は困ってませんけども、二中のほうが多すぎて困ってる。そこをくっつけて割り振ろうよってというのはこれはすごく理にかなっていますよね。なので基本方針に賛成していますが、反対の方が多かったので、少し修正は必要なのかなと思ってまして、その修正として思うのは学区の見直しですよね。それは豊畑の地域なんかでいうと、線路を跨ぐわけですし、干潟小学校でも一部の地域とか、嚶鳴小の一部の地域、中央小の一部の地域の方たちを巻き込んでいけば少し人数が増えるのかなとは思いますが、この辺の合意を得ていくのがすごく時間かかるんじゃないのかなと思っていて、やっぱりそこは1度基本方針のまま進めて、再編ってというのは今後も多分続いていくものだと思いますので、その都度こうやっていけばいいのかなと思います。

あと今日の資料4にあります8つの項目については、私は3番のスクールバスの導入について、これは反対いたします。理由は費用面と安全面です。費用面は1台1,000万円ということを経営の方から言われてましたけども、多分これで済まないんじゃないかなと思ってます。1.5倍から2倍ぐらいかかるんじゃないかなと思っています。1台では済まないってなると、3方向の地域から出すとなるとこれ3,000万円ですよね。10年で3億円。10億円とか15億円とか多分かかってくると思うんですけど、これすごく莫大な費用ですし、お金を生み出す事業ではありませんので、なのでそれをやるんだったら、モノレールなり、路面電車なりで旭中央病院とつなげるとか、社会的なインフラと一緒に考えるべきかなと思いますので、スクールバスの導入に関しては反対です。運転手さんの確保もかなり難しくなるんじゃないかなと思っています。私が小さい頃はバスの運転手になりたいとか、重機に乗りたいって言う子供いましたけど今いませんよね。結局誰が担うのってなったときに退職された方だったり、免許を取った外国人だったりっていうことになると思うんですけど、そういった方たちに運転してもらうってというのはちょっと多分皆さん納得いかないんじゃないかなってのも思っているんで、この3番のスクールバスの導入については反対をいたします。あ

との7つに関しては意見はありません。

○委員 あんまり皆さんの意見についてどうこうっていうことはまず言いにくいんですけども、干潟中への建て替えの件、これにつきましては私のほうではちょっとこういった議論をあまりしていただきたくないなっていうふうに考えております。というのは、そもそも論ですけども、基本方針を作られたのは、多分そもそもそこへ建て替えって、干潟中として存続するのは難しいからということでこの会議が始まっていると私は理解しております。その中で確かに用地の問題、費用の問題を議論すれば、建て替え、これ一番スピーディーでお金もかかりませんが、共和地区の代表としてきている中で、基本方針を否決した中で、今度もっと遠いところへ学校ができるような答申をしたということになりますと、私だけかもしれませんが、共和地区の代表としては非常に地区の方々に対して申し訳ないっていうものもありますし、また現実的な話として、広域農道から南のお子さんはほとんどが二中へ通いたなくなってしまうと私は思います。

今隣の委員さんからも教育の件でなかなか興味深いお話がありましたが、私個人的にはもう1つの意見としてですね、子供も競争あつての教育かなっていうところも大変強く思っているものでありますので、二中の生徒が多すぎるから教育がどうのっていうふうには私自体は個人的には思っておりません。そういう意見もあるということで、ちょっと道を外れますが触れさせていただきました。

最初に干潟中へという話、反対の話から入って、非常に恐縮だったんですが、本題に入らせていただきますと、しつこいようですが基本方針については、すでに否として答申済みでありまして、その答申の中でも、生徒数の問題と費用の問題で、新築は賛成だけでも、生徒が少ないまたは費用の問題で統合しないで現在の施設でやったらどうかという意見が多数だったように記憶しております。そういった答申が、もうすでにあるわけですから、これは冷静に考えれば、すでにもうこの答申で基本方針の見直しをすべき段階だというふうに私は理解しております。これはもう市として考え方を再度検討すべき段階であって、我々にどうするんだというような諮問をするのはどうかなっていう気持ちもあったんですが、諮問されたものは諮問されたものですから、この場で皆さんいろいろな意見を述べられたと。当初賛成だった方も反対だった方も、当初の案から外れたところで知恵を絞って様々な意見を今出されてるっていうところで、本末転倒な気もしなくはないんです。

こういう状況でじゃあどうするんだっていうところなんですけど、皆さんの意見聞いておりますと、私も結構反対というような話はしてきたんですけども、一概に反対だって言ってる

わけにもいかないの、じゃあどうするかって言ったらこの答申書ですけども、もう主文のほうに生徒数の対策、これをきっちりと検討していただくというような記載を主文のほうにいただいた上で、例えば将来通学区域を拡大しやすい場所に場所を検討し直すとか、生徒が減少した場合再度二中へ行くとか、いろんな方法あると思うんです。資料にもありましたけども、そのとき小学校に転用するとか、小中一貫でやっていくとか、そういうことまでもここに盛り込むとは言いませんけども、生徒数の増加の対策をここへきっちりと記載していただいた上で新築をすると、その場合には、将来違う学校も通学するかもしれないということも踏まえて、場所を再度検討し直すとか、そこまで考えたものにしていただく。

もしくは、それができないのであれば、費用の問題もありますので、それができないのであればこれは既存のもので対応していただく、二中に通っていただくとか、海上中に通っていただくとか、いろんな意見もございました。生徒数の改善が叶わないで新築するというのはあんまりよくないと思いますんで、その場合には既存も利用するというようなことを主文のほうへ書き加えていただきたい。

また、その場合の用地の問題ですけども、私も学校すごいお金かかりますよと、農地転用できませんよと、ちょっとマイナスな意見話してきました。ただもし本当にやるのであれば、もう市として農地転用、インフラ整備、都市計画によるまちづくり、にぎわいの創出とかです、もうやるならやるで、ポツンと一軒家みたいな学校建てるんじゃなくて、もう市としてまちづくりを含めて、人口重心が変えられるというお話もありました、すばらしい話だと思います。その時はできないでしょうという話もしましたが、そこまでの覚悟を持ってやっていただきたいというような答申書にしたらどうかなと思います。やる、やらないはこれ市が決定することですから、答申としてはそういった方向に持っていったらいいのかと思っております。

○委員 この会議の素案を市のほうでまとめていただいたこと、素晴らしい良い意見をまとめてくださってるなという、この一言に尽きると思います。そして個人的なことは、やはり干潟中学校ないしこの北中学校の新設を必ずやってもらいたい。残すこと、そして新設をやってもらいたいという意見でございます。最後になりますが、高校野球の今の時代の中で習志野高校の一番を背負って、そこに干潟中なんて出身校が出ますと嬉しくございます。そういうDNAじゃないですけど、活躍してるころの地名の学校がなくなるっていう思いは、そういう思いを継続していきたくないなっていう思いにつきます。

○委員 私の意見としましては、基本方針の見直しをした上で、新設は賛成であります。ま

た1から8に対してですけども、この項目に対しては意見はないんですけども、2番のスピード感を持って着実にこれを進めていって欲しいなという思いであります。

○委員 この例の答え方でいくとなると、萬歳小、中和小、古城小、琴田小、共和小の学区を対象に中学校新設することという意見になるので、また基本方針を蒸し返したような意見になってしまって申しわけないんですが、一応意見として聞かれてこの形で答えるとなるとこのような答え方になってしまいます。

留意事項はすべて検討することとなっておりますので、これで個人的にはいいかなと思います。スクールバスなどもちょっと疑問に思うところもありますけれども、よその地区でスクールバスが出てれば、こちらでないというのもどうなのかなと思いますし、他の中学校ともバランスをとりながら、検討していただけたらと思います。

○委員 私もこの素案にあるように、干潟地区に学校を残すというところはすごい賛成しております。できれば新築で、場所に関してはわからないんですけど、新築で建ててもらえるといいのかなと思っています。中学生が意外と高校選ぶときにですね、綺麗かどうかというのが結構大きな判断になっていて、やっぱりワクワクするんですかね、綺麗な学校とか新しい学校ってね。だからそういう意味でも、いろいろ学区が変わったり、通学の距離が遠くなる子もいるので、できればそういうワクワクできるような、そんな学校を作っていただけるといいのかなと思っています。

そして1から8のやつなんですけれど、8番の学区についてというところで、やっぱり将来的な生徒数とかも心配になるっていうところを書いてある通りで、やはり柔軟な学区制度っていうんですかね、小学校単位だけじゃなくて、もしかしたら将来的にはその単位も崩れて、適正な数になっていくような学区制度も必要なのかなっていうふうに考えています。それが将来的に減ってきてからやるってなると、多分また遅くなって後手に回ってしまうので、これが終わって方向性が決まったら、もう次を考えながらやっていくのがいいのかなと思いました。

○委員 最初の基本方針で賛成に手を挙げたんですけども、確かに人数、北中の人数が一番基本方針の中では少なく、そのあとすぐまた人数が減ってどうなんだって、皆さんもそういうご意見だったと思うんですけども、以前出していただいた今後の方向性パターンっていうので見ますと、豊畑や干潟が入ってくると人数的にはすごくバランス的にはいい感じになっていくところなんです。ただ豊畑から通ってくるとか、干潟の一部から通ってくるのがどうなのかなっていうところもありますけども、人数的にはこれが一番いいバランスでいくのかな

ていうふうに考えました。

北中っていうのは私も賛成で、また新しい校舎を建ててっていうので、子供たちに夢と希望をもって新しい場所でっていうのが、すごく理想かなと考えてます。新しい校舎を建てた時に、その時に入る人数の教室の数とかではなくて、またその先のことも考えて、多少教室の数に余裕を持たせてとか、ゆくゆくは市内で2校になった場合に対応できるように、その新しい校舎に教室の数、スペース、いろいろ余裕を持たせて作ると、いずれ2校になったときに対応もできるのかなというのは考えたんですけども。

○委員 今後の方向性について、基本方針と同じなんですけども、干潟中、第二中学校の学区を対象に中学校を新設とすることで賛成。また、留意事項を踏まえて検討を行うことということで、非常にこれいいと思ってます。スピード感を持った対応とありますが、干潟小、豊畑小の方向性がまだ決まっておられませんので、戻りますが、5つの学区で進めるほうがいいのかなと思っております。

また3番目のスクールバスの導入については、やっぱり学校の場所にもよりますけども、これからの時期、必須事項として、マイクロじゃなくても、ちょっと大きめのミニバン、ワゴン車でもいいのかなと思ってまして。あと、場所としては干潟中学校を建て替えということにすれば、隣の東総運動場とか使えるし、あと肝心なのは、これから先の将来的な北地区の要ということで、既存の干潟中学校の跡地を活用すると、要としてこの先もいいのかなと思っております。

あと、一番最後の学区については、これから先の中学校の人数的な問題を見直すと、やっぱり将来的には、干潟小、豊畑小の今後の方向性を考えつつ、対象学区の見直し、また旭市全体としての柔軟な、極端な話、飯岡のほうから干潟中に行ってみたっていうのも柔軟な対応が必要なかなと思っております。

○委員 自分は元々は基本方針に賛成で考えてたんですけども、今年に入ってから費用の件に関しましては、最近建設費用がすごい高騰していて、先月でしたかね、何かのニュースでも、公共事業じゃないんですけども、何百億っていうビルの建設とかが資材の高騰でストップしちゃったっていうのは、全国に何ヶ所もあるっていうのをニュースで見て、これが建てようとなったときにそれが止まったりしないのかなっていうのも、ちょっと心配したりもしました。皆さんのいろんなご意見を聞きながら、最終的には地域の活性化にも繋がるっていうようなお話も出て、やっぱりそういうところにも期待したいなっていうので、新設に賛成してます。

あとはスクールバスの導入についてなんですけれども、最初の基本方針でスクールバスは導入しない、地域に建てるのが一番いいのかなと思ってはいたんですけれども、まずその場所がスクールバスが必要な地域になった場合には、利用するのに時間に制約があったり、利便性があまり良くないと、結局利用する人が少なくて費用だけかかっちゃうっていうなことにもなるんじゃないかなっていうので、スクールバスの運用でどういう制約があるか詳しくはわからないんですけども、車両のサイズだとか、運用の時間、何便出のかとか、利便性があるもので運用できればいいんじゃないかなって思っております。

○委員 私も基本方針には反対したほうなんですけども、やはり人数、生徒数が一番ネックでして、北部に中学校はあったほうが私もいいと思っております。ですので、この答申の中でやっぱり学区の柔軟な見直しとかですね、あと、もっと魅力ある中学校、新しい中学校ができるわけですので、他の学区からも行ってみたいという子供が増えるような学校づくりを目指してもらえれば、今干潟地区でも二中に通ってる子供もいるんですよ。何で二中に行くのかは、私はわかんないんですけども、ですから、他の学校からも北中に行ってみたいっていうような学校づくりを市のほうで目指して、そういう魅力ある中学校を作って、なるべく生徒数の減少を抑えると言いますか、そういう学校づくりをしていただければ、今の基本方針案で進めてもらいたい。

最初のほうで何案か学校の位置もありましたけども、やはりあの辺が一番真ん中で理想だと思います。我々は干潟中に新しい学校ができれば、それに越したことはないんですけども、やっぱり旭地区の方はそれではなかったとはなかなか言いにくいとは思いますが、真ん中に中学校ができるのが一番私はいいと思います。そうすると自力で通える子供たちも多いわけですし、それがいいのかなと思います。

この8つの留意事項がありますけども、これを全部羅列するっていうのもどうなのかなと思うんですけどね。やはり私はその1点か2点ぐらいにまとめて答申として出すほうが、どうしても書き加えたいっていうのがあれば参考というか、要望として加える程度で、答申としてやっぱりこの枠組み、例として囲んである中に詰め込んで1つの答申として出すのが理想ではないかなと思います。

○委員 まずは一旦白黒ついたところ、私の意見でいろいろと混乱させてしまってるところは、私としても十分承知はしてますので、この場をもってちょっとお詫びをさせていただきたいんですけども。私としてはですね、前回、前々回と別の形で意見を出させてもらってますので、正直私としてはこのスタンスで行かせてもらうしかないのもちょっとご容赦いただ

けたらと思います。

私の意見としても、今まで言ってきた通り、基本方針の学区を対象に中学校新設するっていうところであります。正直、共和琴田のほうが納得がいくか、いかないかって言ったらやっぱりいかない、それも正直私としてはかなり考えました。そのところについては、私としては学校を建てる場所については、現実的なところを本当に突き詰めていくと、やっぱり干潟中っていうのがスピード感とかお金の面からも一番妥当なところ、現実的に考えるとそこしかないんじゃないのかなとは思ってまして。

前回お話をさせていただいたスクールバスの関係なんですけど、私としては正直地区の真ん中に近いところに学校を建てるっていうところを考えると、それが完全に正解なのかっていうとちょっと悩むところもありまして、いくつかやっぱり意見がありましたけれども、例えば昨日今日もすごい暑さで、やっぱり子供たちの健康面ですとか、そういうのが心配される場所。真ん中に建てたとして、じゃあその通学可能範囲っていうのが、やっぱり中央になると、自転車で通学できる範囲っていうのが広がるわけですね。スクールバスを出して、遠いところとか、そういうのを払拭できるっていう意味からも、前回スクールバスの話をさせてもらって、妥協点というか折り合いをつける部分として話をさせていただきました。

どこに作るかっていうところは、最終的にはお金の面とかからも、なかなかできること、できないことあると思いますんで、そこまでこだわりはないんですけども。

ちょっと行政のほうに確認したいんですが、田んぼの中に建てたとして、その地盤的な部分で、災害的な面で心配っていうのはあるんでしょうか。

○事務局　委員さんが言ってるのは、農地に造成をして学校を新設するというようなイメージっていうことですかね。以前新川の浸水区域というところを少しお示しさせていただきました。なので、災害的なリスクの話になると、その浸水区域での対策、学校づくりというところが必要になってくるというふうには想定されます。

○委員　地盤的なところでは流動化しちゃったりだとか、建てた後もそういう不安が残るっていう可能性はないんですか。

○事務局　そういったリスクも想定した上で強度的な部分、それと地盤的なところを改めて強化するっていう対策工事は必要かなというふうには思ってます。

ただ、その浸水する区域のリスクは残りますので、その辺は学校づくりとして少しマイナス傾向かなっていうイメージがあらうかと思います。

○委員　私もちょっとそういった考えがありました。旭市は一度被災してますんで、そ

ったことを考えると、もちろん新しい大きい土地を確保して、新しい学校をそこに建てられるっていうんであればそれほどすばらしいことはないんでしょうけれども、そういった懸念材料を考えると、消去法でいくと、干潟中学校の建て替えっていうのが一番理にかなってるのかなっていうところではあります。

あとは下の部分に関しては、概ね私としては、もうこれでいってもいいんじゃないのかなって思うぐらいにでき上がったものだとは思ってます。ただ1つ言うんであれば、これから話が進んでいく中で、私としてはやっぱり北地区の中だけで北地区の中のことを決めていくっていうのが一番間違いないのかなとは思ってまして、人数を揃えるなり、そういったことをしようとした場合にやっぱり他地区の意見を聞かないといけない。他地区の意見を聞くっていう事は、これはちょっと心配性すぎるって言われるかもしれませんが、他の考え方とか意見がそこに差し込まれる余地が出てきちゃうっていうことなんですよね。大半の方がやっぱり新築はしたいよねって考えてるこの会議の中に、また新しい意見とかそういうのが挟まってくると、もしかするとこちらと考え方自体を覆されてしまうようなそういう案が生まれてしまう可能性もあるんじゃないかなっていうふうに、ちょっと懸念もしてまして。なので、できる限り北地区の中だけで、このことを完結できればいいかなとは思ってます。ただ意見としては、概ね賛成でございます。

○委員 四角のところと言うと、丸のついてるところに入れ込むというよりは、私は再編っていうのは今後もありえる話かなと思っていて、例えばこの人数とか、学区を増やしていくっていうのは順を追ってでもいいのかなと思っていて、先にこの基本方針にある小学校から始めて、いずれは干潟、豊畑だったりとかも見据えた新設だとか、建て替えっていう形であればいいのかなと。そこまでしっかり記載をしないと、私が今まで反対してきた理由って、多分この基本方針の学校の人達だけでこれから一生やってくよっていうんだったら反対だし、その人たちしか入れない学校のキャパシティのものを新設するっていうんだったら反対なんですよ。

でも、今後中学が2校体制になるとかっていう記載もどっかにあったかと思うんですけど、それもあ得るし、他の学区編制っていうのも今後あり得るっていうのを想定した上で新設もしますよっていう形であれば、私は新設も、例えば干潟中学校の建て替え、同じ場所での建て替えっていうのもいいのかなと思うので、臨機応変に今後もやっていきますよっていうところがここの四角の中に記載してあれば、私はいいいのかなと思いました。

あと、その中でも2番のスピード感を持った対応っていうのはやっぱりどうしても必要に

なってくるのかなと思っていて、少ないほうがいいって人と多いほうがいいっていう人と、どちらもいるとは思いますが、家族の負担が多くなるよね、遠くなるから通いにくくなるよねっていうのも嫌だし、現状維持で人数少ないっていうのも嫌だよねって、いろんな意見があるんで、100%全員の賛成っていうのはありえないと思うんですよ。じゃあ誰のためって置き換えたときに、子供たちのために今の状況がいいのか、それとも多いところに行ったほうがいいのかっていう線引きの中で、どうするっていうのを決めたほうがいいと思います。それはどうするかっていうのはこの再編会議の中で話し合うよりも、その地域の人たちの意見の中で決めたほうがいいのかなっていうのは1つ思いました。

あと、3つ目なんですけど、特にこの素案の中にあった4番5番っていうのはすごく、私は未来の旭市を考えたときにすごく重要なことだと思っていて、成田空港の開港の話もちろんありますし、防災拠点としてっていうところとか、北の玄関口っていうところだとかっていうのも全部盛り込んで、今後10年20年とかじゃなくてこの先ずっと旭市を発展させていくっていうところを考えたときに、ここはすごく重要な話だと思っているので、とてもいいなと思いました。

やっぱり予算に対する懸念っていうのはこれまで何回も皆さんと会議をする中で、出尽くしているんじゃないかなと思っていて、例えば新設にかかる費用、用地どうすんのとか、あと整備するにも土壌の問題とかもあるよね、通学路の問題もあるよね、バスの問題もあるよねっていういろいろ予算に対する懸念って出し尽くしたんですけど、正直そこに関してはもうこの会議で市の方には伝わっていると思うんですよ、私たちの市民としての意見っていうのは。あとは決めるのはもう私たちじゃなくて、市ができるかどうかっていうのは、こちらで決めることではないので、こういう懸念がありますよっていうのを市に言えればもうそれでいいのかなと思っています。

あとは市の方が、今後旭市をどういう旭市にしていきたいのかっていうビジョンの部分だとか、それによって新設をする場所も、今の北中学校の場所がやっぱり一番魅力的なのか、それとも新しく真ん中に作ってそこを拠点にして、人の重心を集めてくるとかっていう未来予想があるっていうので、場所が変わってくると思うので、今回の北中学校の再編代表者会議っていうところでは、私は新設にしても、建て替えにしても、賛成の意見であります。あとは市のビジョンと、この先の未来っていうのと総合して考えていけばいいんじゃないかなと思いました。

○委員　私もこの人数が一番ネックでずっと悩んでいたんですけど、やっぱり新築について

は、これから先、今自分の子供が大人になったときのこと、その時のことまで考えると、やっぱり国道よりは北側に新築をしたいなっていうふうに思ってます。今国道より北側に高い建物がないかなって思うんですけど、やっぱり北側にそういう防災拠点になるような建物が欲しいなと思うのと、今の二中がやっぱり古くなってくるので、それがだめになったときというか、人数も減ってくるだろうし、そのときのための受け皿として、教室数の足りるような校舎を作りたいなと思いますし、高速道路、成田空港の開通があるので、期待をするので、そこを踏まえて旭市がどういう将来をイメージしているのか、これからどう発展させていってくれるのか期待を込めて新築をしたいなと思っています。素案の1番から8番についてはとても賛成です。

○委員 自分も毎回頭がパンク寸前くらい皆様のご意見をいただいて、何かいい方法はないかななんていつも思っていて、何に引っかかっているのかなと思ったら、やっぱり統合ってということと、あと学区、皆さん人数をバランス取ってとか、すごく引っかかっているんだなと思っていて、自分も職業柄いろんな中学校に行く機会もあって、干潟中よりも小規模で運営している中学校も実際にあって、その学校に先日お伺いする機会があって行ってきました。やはり小規模だと小規模なりに全校で体育をやったりとか、工夫をしてやっているんだなって思って、そういうふうな考えだと別に均等にしなくてもいいのかな。

皆さんの意見としては干潟地区に学校を残したいっていうことが第1なのかなって考えて、何かそういった方法はないのかなと思ってちょっと探したところを、小規模特認校っていう制度があって、近隣ではないんですけども柏のほうであったりとか、そういったところは小学校単独で小規模特認校として運営している。実際小規模特認校というのがどんな制度かかっていうと、人数が少なくて、そういった場合には、学校の選択制がいろいろできるよというところで、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について通学区域に関係なく市内のどこからでも就学を認めるものっていうものが特任校っていうものになってます。そう考えると、干潟中を今のまま維持しつつ、市内から集める、集める方法として新設するとかっていうのでも面白いのかなって考えました。

ただ中学校だけで維持も難しいのかなと思っていて、それだったら小学校の再編のときに意見が出たのか、出ないのかわからないんですけども、小中一貫校でそういった特任校、実際に春日部のほうで、1学年が10人前後で推移しているような小規模の特認校があるみたいで、こんなものもいいんじゃないかなって思いました。

統合についてはやっぱり場所によるのかなって。干潟中に建てた場合には広域農道よりも

南の地区はなかなか行かないよねっておっしゃってたんですけども、仮にスクールバスが出ないってなった場合に、自分の娘でも現状で考えるとちょっと難しいし、多分うちからであれば二中に行ったほうが近い、明るい、あと安全面も歩道とかそういった面でも大きな通りを通れるっていうところも考えると、なかなか通わせることができないのかなって思っています。

なので、本当にこのまま統合を進めるのであれば、スクールバスの導入であったり、あとインフラですね、大掛かりになると思うんですけども、道路環境など、子供たちの安全を守るっていうところを整備をした上で統合の話は進めていっていただきたい。ただ、今の段階で統合ですって言われると、ちょっと自分としては通わせることはちょっと難しいかなって言いながら自分の娘が今1年生なので、6年後にはなってくるので、そこまでにどこまで進められるかわからないですけども、もしこの意見で進めるのであれば、そういったところが絶対的な条件になってくるのかなって思いました。

○委員　いつもと反対周りで、皆さんの意見をいつもよりいろいろ聞いて、何かちょっと自分の考えが整理がつかなくなっているんですけど、とりあえず私の意見としては、まず基本方針が否決されたときに人数の問題があったということで、他の小学校を入れるとかいろいろあったと思うんですけど、私の意見としてはもうスピーディーに解決することが大事だと思うんです。うちの娘が今小学校1年生で、中学校どこになるんだろうって最近考え始めて、まだどうなるかわからないなと思って、できれば早めにうちの娘がどこの中学校に行くのか決まって欲しいなって最近思ったんです。

その人数の問題の解決をスピーディーにするために、人任せにするわけではないんですけど、一中、二中、干潟中地区全体で、学区の再検討をするのが私はいいいのではないかなと思ってます。他の学区の皆さんの話も聞いてみたら、もしかしたら北統合中に通うのもありかなっていう意見も聞けるかもしれないし、ちょっとそっちまで通うのは大変だっていう意見も聞けるかもしれないと思ったので、学区をもう一度全体で再検討することによって、旭市全体をどうするか、学校全体を長い目で見てどうするかが見えるんじゃないかなっていうふうに思いましたので、それを希望します。

○委員　前から新築は賛成だけど人数が少ないから反対っていう意見だったんですけども、それで干潟小学校も入れたほうがいいんじゃないかっていう話をしていて、豊畑小だとちょっと遠いかなって思っていたので、そういう意見を出していたんですけども、今後小学校を統合するのに分けられないかもしれないっていう話を聞いたので、この四角の部分は5つ

の学区を対象に、中学を新築することと思っています。

あと、1から8については、もう私の意見が全部入ってるなって思っているんで、そのままでもいいと思います。私の意見としては、やっぱり干潟地域が過疎化が進んでいるので、中学校がなくなってしまうとさらに進んでしまうと思います。あと下の地域ばかりに学校があったり、あとイベントや遊び場も町中が多いイメージだったので、これから新築されれば、学校の近くに建てようとか住もうとか、ここで子育てをしようと思ってくれるかもしれないので、これからの発展も期待していきたいと思いました。

○委員　まず答申の主文のほうなんですけど、方向性ということで、私は市内の学区の見直しを含めて新築を検討するということでお願いしたいと思います。

あと留意事項ですが、1から8で修正は必要ないと思っております。私の意見なんですけど、過疎化がぐんぐん進みますんで、スピード感と言っても準備にはいろいろ時間がかかってしまうので、もう将来、市内に2校になったときを見据えて準備をしていかなきゃいけないようなスピード感なのかなとは思っております。人数の問題で今回否決だったと思っておりますので、長く使えるように、人数を増やすために学区の見直しが必要と。

あと6キロ圏内の学校っていうのが1つあったと思うんですけど、もうそこを気にしてたらうまくいかないんじゃないかと思ってまして、例えばですけど、今小学校の再編も進みますんで、小中一貫ってのはちょっと考えにくいのかなと。真ん中に建てようとする、やっぱり地盤の問題、浸水区域にばっちりハザードマップに入ってしまったんで、だから用地の取得とかも大変なんで、もう既存の学校を使うっていうほうがいいと思います。例えばですけど、萬歳小学校が今年で閉じるんですけど、その跡地に学校を建てて、将来市内で2校にしたとき北側に、海上学区とかも含めて、でかいのを1つどんと建てたら、地盤はいいし、用地の取得とか立地とか、既存活用もできて、費用も過疎債を使えるからいいかなっていうので、そういうのも含めて、市のほうにもう一度計画を見直すということでお願いしたいのかなと思っております。

○会長　ありがとうございました。

みなさまにいただいた意見をもとに、大枠の部分については、学区のことについて持ち帰りまして、ここについては修正したいと思っています。また下の留意事項についてはこのままでもいいかと思いますが、ちょっと見直しして再確認のうえ事務局と調整していきたいと思っています。

本日予定されている議事は終了となりますので、議事進行のご協力ありがとうございます。

た。進行を事務局にお返しします。

4 その他

○事務局　それでは最後に次第の4、その他ということで、事務局より事務連絡をさせていただきます。

○事務局　（事務連絡）

5 閉会

○事務局　長時間にわたり本日の会議ありがとうございました。

これにて第6回代表者会議を閉会にさせていただきたいと思います。

【閉会：午後8時20分】